

【 提 言 書 】

さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けて

令和6年1月17日

さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議

さぬき市まち・ひと・しごと創生本部
本部長 大山茂樹 殿

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けて

さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議では、さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間（平成27年度から令和元年度）の満了を受けて、令和2年度から実施されている第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）に掲げた重要業績評価指標（以下「KPI」という。）の令和6年度の達成等に向け、関係部局に対する総合戦略の進捗状況調査の結果等について協議を行いました。

つきましては、当有識者会議における協議結果等を、次の意見を付して報告します。

貴職におかれましては、意見内容を踏まえた総合戦略の実施に努められるよう希望します。

さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議
座長 長山貴之

1 総括意見

(1) 本年度の改訂に向けて

48項目のKPIの実績値等を検証した結果、本年度における重大かつ大幅な改訂要素はないように思われる。

ただし、KPIについて令和4年度実績値が既に令和6年度目標値を達成している指標は、特段の理由がない限り、適宜、上方修正すること。

また、個々施策の達成状況調査票について、実績の評価、課題と改善策、次年度の予定の記載内容が毎年同じである施策が見られるなど、書面上では非常に表面的な内容に見えるため、何年も同じ課題を設定し続けるのではなく、年度ごとに内容を精査し、前年度の課題と改善策を受け、次年度の予定には、もう少し踏み込んだ内容を示してもらいたい。

(2) 令和6年度に向けて

さぬき市の人口減少は底を打っていない。住民基本台帳人口は、平成22年の53,865人から平成27年の51,526人へと4.3%減少し、令和2年には47,310人までさらに8.2%減少している。この急激な人口減少への対応こそが、さぬき市の喫緊の課題であり、総合戦略の目的も、この人口減少とそれに伴う社会構造の変化に対応することにある。

個々施策のKPIについても重要であるが、達成したから良かったではなく、究極の目標であるさぬき市の人口減少に歯止めをかけるために、職員一人一人が大きな視点で取り組み、議論を深めていく必要がある。

また、その地域に住んでいる人が生活の質を落とすことなく、これからも快適に住み続けられるように、大局的にデザインしていくことも行政には期待する。

新型コロナウイルス感染症の影響について、状況に応じた施策や指標等の見直しが適宜必要であるが、ウィズコロナ、アフターコロナに向けた経済活動の正常な動きが進んでいることから、さぬき市においても、これまで十分に進められなかった行政手続の電子化をはじめとする個別施策のDX化を図るなど、市民サービスを大きく向上させていくことを期待する。

要は、考え方やアイデア次第である。徳島文理大学の移転についても、ネガティブに捉えるのではなく、さぬき市の大きな話題の一つとしてポジティブに考えていくことが重要である。2025年には瀬戸内国際芸術祭や大阪・関西万博も開催されるほか、IR構想など先進的な話題も日々更新されるため、産・官・学・金・民での連携を強化するなど広い知見を活かして取り組んでいく必要がある。

なお、施策を推進する上では、さぬき市の財政を考慮することも重要である。例えば企業誘致に関して、さぬき市が国家戦略特区を取得し規制緩和を実施することで、市外の企業がさぬき市内に立地しやすくなるなど、経費を抑えながらもさぬき市独自の魅力を打ち出していくことが必要である。

現状の課題に危機感を持って取り組むとともに、地方創生の実現に向けて更なる奮起を期待する。

2 基本目標別個別意見

基本目標1 「誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる」

○具体的な施策「遊休農地活用の促進」

KPI「遊休農地活用事業で再生した農地面積」関係

- ・農地中間管理機構は、農地を売りたい人と、農業を行いたいと思っている人を結ぶ重要な機関であり、後々の当事者同士のトラブルを防止することも期待できるため、大いに評価できる。
- ・耕作放棄地を減らし、農地を有効に活用していくためには、さぬき市が「農業を行いやすいまち」であることが前提である。遊休農地活用事業における補助金もこのことを支援する一つの施策であるが、他にも、農業者が農事組合法人等へ法人化、企業化できるようサポートする仕組みづくりや、国家戦略特区を取得し、一般の企業でも農地を取得できるような規制緩和を実施するなど思い切った施策を進めることも重要だと思われる。さぬき市で農業を行うメリットを多く打ち出し、市内外問わず積極的にPRしていくことを期待する。

基本目標2 「さぬき市への人の流れをつくる」

全般について

- ・行政に限った話ではないが、観光イベントや婚活イベントなど、様々なイベントについて、開始時は団体等が盛大に開催したとしても、何年も続くと前例に倣うだけで行っている事例もあると思われる。毎年、社会情勢の変化に対応した見直しを行い、集客に向けた検討を実施するとともに、一定期間続いた際は次の世代へ引き継ぐような動き方を期待する。
- ・さぬき市内の秋祭りのように地域に根付き、代々引き継がれているようなイベントは長く続いている。ただ、他の地域においても同様のイベントが行われているため、さぬき市だけにしかない景色、食べ物、行事など特色ある材料を取り入れて、さぬき市内で人が循環し、市外からも人が流れてくるような魅力的な施策の推進を期待する。

○具体的な施策「住宅建築・購入・リフォーム支援施策の推進」

KPI「住宅新築軒数」関係

- ・定住奨励金は、件数を把握することで地域の現状を捉えることができ、定住者を支援する上で有効な施策であると思われる。
- ・市営住宅について、一部を子育て世帯のニーズに合わせてリフォームを行うほか、利用者がある程度自由に改修できるような制度を設けるなど、子育て世帯への支援、移住定住促進に向けた積極的な取組を期待する。

○具体的な施策「さぬき市の魅力発信の強化」

K P I 「さぬき市観光協会ホームページ総アクセス数」

「さぬき市再発見ブログ訪問者数」 関係

- ・ 2025年度に開催される大阪・関西万博に向けては、様々な問題をはらみながらも開催時期が近づいてきている。さぬき市においては、東讃エリア観光振興連携協定を活用するなど、速やかに大阪・関西万博に向けて積極的で具体的な取組を進めていくことを期待する。

基本目標3 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

目標指標「児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数」 関係

- ・ 不登校児童生徒数については増加しているが、時代背景として無理に学校に行かなくてもよい風潮になってきているとも考えられる。学校に行かずとも、デジタルツールの普及により、オンラインやアプリ等でも勉強できるようになってきた。ライフスタイルが変化しているため、本目標指数の数値だけでは実態はつかめていないと思われるので、一歩踏み込んで調査することを期待する。

○具体的な施策「婚活応援事業の支援」

K P I 「婚活イベントのカップル成立数」 関係

- ・ 現在は、婚活アプリでのマッチングが増えていることもあり、婚活イベント自体の在り方を時代に合わせて検討する必要がある。例えば、アプリを活用した婚活イベントやマッチングにより、さぬき市を旅行先に選んだ場合に特典を与えるなど、社会情勢の変化に対応し、さぬき市としても支援の方法を見直すことを期待する。

○具体的な施策「子ども医療費助成制度の推進」

K P I 「子ども医療費の受給件数」 関係

- ・ 香川県内の医療機関等で受診した場合は現物給付を実施しているが、香川県外の場合は立て替え払いの対応である。領収書の確認により受給手続を簡素化しているが、関係機関との連携を一層密にして、香川県外の場合も現物給付を実施することを期待する。
- ・ 令和5年度から医療費助成制度を一本化し、制度の対象児童の年齢を「18歳の年度末までに拡充」することは、子育て世帯の不安や負担を軽減させる素晴らしい施策である。

基本目標4 「生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる」

○具体的な施策「周産期医療の充実」

K P I 「分べん件数・紹介件数」関係

- ・産婦人科医師1人体制は十分ではないが、ようやく軌道に乗ってきたように思われる。さぬき市民病院は大川地区で唯一の分べん機関であることから、院内分べんの維持に努めるとともに、産婦人科医の複数体制の確保に向けての取組も期待する。
- ・現在、在籍している1名の産婦人科医師については、助産師を適切に配置するなど、継続して在籍し続けることができるサポート体制の確立を期待する。

○具体的な施策「目的に応じて選択できる公共交通の推進」

K P I 「公共交通網の充実に対する市民満足度」関係

- ・人口減少によるコミュニティバス運行の赤字はやむを得ない。住民側も行政側にすべて任せるのではなく、適度に利用するなど協力していく姿勢が必要である。

3 さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略K P I 達成状況調査結果

別冊のとおりとする。

4 協議経過

○令和5年度第1回まち・ひと・しごと創生有識者会議

開催日：令和5年9月4日（月）

議 事：（1）第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略K P I 達成状況について

（2）今後のスケジュールについて

○令和5年度第2回まち・ひと・しごと創生有識者会議

開催日：令和5年12月4日（月）

議 事：提言書「さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けて」案について

5 さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿

	氏名	所属等
座長	長山 貴之	香川大学経済学部教授 学部長 (学校)
副座長	尾崎 勝	さぬき市商工会 会長 (産業)
	井出 哲夫	自治労香川県本部特別執行役員 (労働)
	大塚 ノブ子	さぬき市農業委員会 委員 (産業)
	金江 ちひろ	元東讃地域農ガール代表 (地域)
	小池 よう子	食農ライター (言論)
	長谷 真里	長谷ぶどう園 代表 (地域)
	山崎 和彦 (令和5年10月12 日まで) 白川 伸哉 (令和5年10月13 日から)	百十四銀行株式会社志度支店兼津田支店 支店長 (金融)

50音順(座長・副座長除く)、敬称略